

農林水産大臣賞

おおかわうちちく きょうぎかい いずみ
大川内地区コミュニティ協議会(鹿児島県 出水市)

また会いたい人がある。また行きたい場所がある。大川内

1. 地区の概要

大川内地区は、出水市の北東部に位置し、面積の大半が森林である。14の自治会があり多くの農産物の生産、地域行事、伝統文化の継承などを通じて助け合い・支え合っている。

2. 団体の概要

大川内地区コミュニティ協議会は、14自治会、約560名の会員で構成されている。「自分たちに合った活動」を大事に、小さく始めて継続することをモットーとしており、各自治会は、適材適所、得意分野での活動を行っている。協議会では、「地域づくり部会」、「健康づくり部会」、「環境づくり部会」、「人づくり部会」の4つの部会を整備し、活動をしている。また、正現棚田保全会、JA等各組織と連携を図っている。

3. 団体の取組み

(1) 農業生産面

正現棚田保全会は、正現の棚田の農地保全、景観保全を実施しているほか、生態系の保全にも努めている。協議会では生産された米の価値向上に取り組み、ブランド米「大川内の清流棚田米」を「茶いっぺ市場」での直売や、ふるさと納税の返礼品としても展開し、安定した販売手段を確立するとともに、自主財源の確保にもつなげている。

地区内の小・中学校3校は、地区外から多くの児童・生徒を受け入れ、地区と連携して棚田米づくり体験、炭焼き体験や紙漉き体験など様々な交流体験を実施しており、後輩の指導などで交流体験活動に参加する卒業生もいる。

(2) 生活・環境整備面

健康体操教室などサロン活動や買い物バス、配食支援の他、有償ボランティアの「てげてげふれあい助け隊」による生活支援も充実させ、住民のつながりと生きがいを創出し、持続可能で活力ある地域づくりを実現している。

「めのもちまつり」などの伝統行事や小・中学校との合同運動会により世代を超えた交流と文化継承に取り組んでいる。

広報活動として、年4回の会報発行、SNSを活用し、地区内の様々な取組等を発信している。



棚田米づくり体験



茶いっぺ市場、大川内の清流棚田米



伝統行事めのもちまつり